

感染性廃棄物容器合格証

日之出紙器工業株式会社

商 品 名	セーフティボックス50
型 式	21991-001-01
容 量	50リットル
材 質	内装容器:プラスチック袋 外装容器:紙ダンボール

上記の容器が感染性廃棄物容器評価事業の
審査基準に合格していることを証します

JW 登録番号	2016-1008
有効期限	平成34年1月25日

平成 29年 1月25日
公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター
理事長 岡澤 和好



感染性廃棄物容器評価書 (JW登録番号 2016-1008)

日之出紙器工業株式会社	商 品 名	セーフティボックス50
	型 式	21991-001-01
	容 量	50リットル
	材 質	内容容器:プラスチック袋 外装容器:紙ダンボール
	用 途	固形物専用(液・泥状および鋭利物不可)
	特 記 事 項	把手のない仕様であるため、把手強度試験については省略した。

1.評価の考え方

感染性廃棄物容器評価制度では、廃棄物処理法に基づく「感染性廃棄物処理マニュアル」に規定されている範囲内において、通常条件(使用温度:15~30°C、運搬車両の荷台高さ:100cm、荷台での積み上げ高さ:250cm)での容器の持ち運び、積重ね、転倒・落下事故発生時に、注射針の貫通、容器の破損、容器からの内容物の漏れに耐え得る容器を評価しています。

2.実施試験

貴社が本容器について実施した次の試験の結果は、審査基準を満たしています。

試験の内容

試験項目	試験方法	試験結果
落下試験	20kgの砂を充填した容器を、100±2cmの高さから硬く弾力性のない平滑な水平面上に落下させた。	落下直後に、内容物が容器から逸脱する可能性のある亀裂、破断、裂け、又は変形がなく、内容物の漏れが観察されなかった。
転倒試験	20kgの砂を充填した容器を3段を積み重ね、縦、横の側面それぞれ2回、硬く弾力性のない平滑な水平面上に転倒させた。	転倒直後に、内容物が容器から逸脱する可能性のある亀裂、破断、裂け、又は変形がなく、内容物の漏れが観察されなかった。
積重ね試験	20kgの砂を充填した容器の上に、20kgの砂を充填した容器を4段積み重ねた荷重を超える85kgの錘を載せて、24時間静置した。	内容物が容器から逸脱する可能性のある亀裂、破断、裂け、又は変形がなかった。内容物の漏れが観察されなかった。
耐水性試験	試験片5枚以上を用い、水の量100±5mlを1800秒以上接触させた際の吸水度を計測した。	吸水度の最大値が119g/m ² であった。 (基準値:吸水度の最大値が155g/m ²)

平成 29年 1月 25日

公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

理事長 岡澤 和好



更 新 審 査 結 果 報 告 書

受 付 番 号	2016.06	
申 込 者	日之出紙器工業株式会社	
申 込 容 器	商品名	セーフティボックス 50
	型式	21991-001-01
	タイプ	①固形物専用(液・泥状および鋭利物不可)
	種 類	箱
	材 質	内装容器：プラスチック袋 外装容器：紙ダンボール
評 価 結 果	合格	
J W 登 録 番 号	2016-1008 (新しい制度での登録番号)	
評 価 書 交 付 日	平成 18 年 1 月 26 日	
評 価 書 交 付 日 (更 新)	平成 29 年 1 月 25 日	
評 価 有 効 期 限	平成 34 年 1 月 25 日	
更 新 回 数	3	

審査結果の概要

評価申込書[更新]の審査をした結果、更新が承認された。

審査委員会からの要望、意見等

--